

令和3年度第12回 感染症発生動向調査部会  
議事要旨

1 日 時 令和4年3月16日(水) 14:00～

2 場 所 岐阜大学医学部本館 1階 小会議室(岐阜市柳戸1-1)

3 出席者

委 員 : 馬場 尚志(岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター センター長)  
大西 秀典(岐阜大学大学院医学系研究科 小児科学 教授)  
加藤 達雄(国立病院機構長良医療センター 呼吸器内科統括診療部長)  
大野 元(岐阜県産婦人科医会 理事)  
石山 俊次(石山泌尿器科皮膚科)  
オブザーバー: 小山 静代(岐阜市保健所 感染症対策課 感染症対策係長)  
事務局 : 石塚 敏幸(感染症対策推進課 感染症対策第二係長)  
山田 涼子(感染症対策推進課 技師)  
今尾 幸穂(保健環境研究所 疫学情報部長)  
岡 隆史(保健環境研究所 主任専門研究員)

4 議 題 (進行:大西委員)

- (1) 前月の感染症発生動向について
- (2) 検討すべき課題について
- (3) 情報提供(月番委員専門分野から)
- (4) その他(感染症対策推進課から)

5 議事要旨

【前月の感染症発生動向について】

- ・事務局からの説明は資料のとおり。
- ・月番委員のコメントについては資料のとおり。

【検討すべき課題について】

○RSウイルスの流行時期の変化に対するシナジスによる予防に関する提言について。

(委員から)

新型コロナウイルス感染症の出現後、RSウイルス感染症の流行時期に変動がみられ、モノクローナル抗体製剤「シナジス」の使用開始の判断が今後難しくなるかもしれない。このことに対して当部会から何か提言できることはないだろうか。

・当部会に提出されるデータは常に公表されているので、それを基に流行時期の変化について当該分野の医療関係者に啓発し、データを活用してもらうことが良いと思う。

○ダニ媒介感染症に関する情報発信について

(事務局から)

昨年岐阜県で初めて発生報告のあった日本紅斑熱について、今後迅速に保健環境研究所にて検査が行えるよう、検体採取に関する情報を医療機関へ向けて発信する予定です。ついでには効率的に情報発信が行えるよう、医療機関の立場からご意見等をいただけるとありがたいです。

(委員から)

- ・ 麻しんなど、他の感染症を搬入する場合は、検体の採取法などを記載した流れ図があり、医療現場はそこから情報を得ていた。ダニ媒介感染症の場合も、同様の流れ図があれば良いと思う。
- ・ 感染症の発生動向を調査するうえでサーベイランス体制の強化は有用と思うが、一方で保健環境研究所にも検査量の上限が有ると思う。他の感染症の検査も考慮したうえで、効率的に検査体制を構築する必要があると思う。